

広報 なよろ

王子マテリア(株)名寄工場の歴史 2-3

健康ガイド 4-5

チャレンジデー 6

「エコひまちゃん」通信 7

フォトでお知らせ - 広報版 - 8

森ものがたり 9

もっともち米プロジェクト
まちづくり懇談会 10

光回線サービス利用説明会のご案内
なよろっぼい家づくりの会 11

地域おこし協力隊活動報告
毎年10月は食品ロス削減月間です 12

除雪助成券・屋根雪下ろし助成券
ホワイトマスター募集 13

健やかな成長を願って
消費生活センター通信 14

男女共同参画社会の実現をめざして
空き家の適正管理をお願いします 15

施設のお知らせ 16-18

暮らしのお知らせ 19-23

特集 王子マテリア(株)名寄工場の歴史

令和元年10月に王子マテリア株式会社名寄工場生産品集約を発表し、2年が経過しました。工場内に2機ある生産設備のうち1機を9月10日に停機し、その設備を王子製紙苫小牧工場に移設。2機目は12月1日に停機させ、昭和35年（設立当初は天塩川製紙株式会社）から続く名寄工場に幕が下りようとしています。長きにわたり、名寄市の工業基盤として製造業を支えてきた王子マテリア(株)名寄工場の歴史や今までの経緯を振り返り、現在までの状況をまとめてみました。

沿革

昭和35年4月 天塩川製紙(株)を設立。
昭和47年2月 段ボール原紙業界の供給能力過剰による生産調整が始まる。以後昭和60年代まで稼働率低迷が続く。
昭和54年4月 兄弟会社である北見パルプと対等合併し、北陽製紙(株)が発足。段ボール原紙業界の構造改善を目指す。
昭和58年6月 紋別市にある工場を名寄に集約する。
昭和62年1月 本社を名寄市に移転し、北陽製紙を新・旧に分社。旧社は昭和63年9月に名寄工場の機械設備と紋別工場の土地を本州製紙に売却し清算を終了。新社は、従業員と営業資産を引き継ぎ、本州製紙から設備を賃借して生産を続ける。
平成2年4月 順調に業績回復したのち、本州製紙から設備を買い取り自社所有となる。

平成11年10月 北陽製紙、王子建材工業、新日本コアの3社が合併、新たな北陽製紙(株)が誕生。
平成13年7月 王子製紙、高崎三興、中央板紙、北陽製紙の営業部門が統合し、板紙共同販売会社として王子板紙(株)が設立。
平成14年10月 生産・販売を一元化し、原紙製造部門も王子板紙(株)と合併、王子板紙(株)名寄工場となる。
平成24年10月 王子板紙が白板紙販売、包装用紙製造販売事業を開始し、王子マテリア(株)に社名変更する。それに伴い、名寄工場も王子マテリア(株)名寄工場に社名変更となる。

経緯

令和元年10月4日、王子マテリア(株)の小関良樹代表取締役社長(現・王子ホールディングス取締役)が市役所を訪れ、名寄工場にある生産設備の移設や停機を行い、名寄工場が生産工場としての役割を終了させる旨の報告を受けました。

名寄市は、地域に甚大な影響(上川管内での影響額は27億円と試算を与える事案であることから、北海道などと連携し、撤回・再考の要請を行い、さらには市民の皆さまに署名協力をいただき、親会社の王子ホールディングスへ再要請を行いました。結果、再考はできないとしながらも、今後、地域の影響を最小限に留める名寄市の取り組みに対し、ともに協議していただくことになりました。

名寄市は、王子マテリア(株)が所有する施設や工場敷地について、名寄市強靱化計画と連携する次の提案を行っています。1つ目は、道北地域のエネルギー賦存量を生かし、雇用や関連事業の活性化を見込める**①再生可能エネルギー事業**。2つ目は、将来的にこの地域の持続可能な物流網の存続、また日本最北の駐屯地があることも踏まえ、**②物流・防災拠点化**による道北圏域全体の物流・防災基盤強化。3つ目は、5G規格が進み世界的にデータ処理拠点が必要とされる中、冷涼気候かつ災害が少ないこの地での**③データセンター設置**の3点です。1つでもこの提案が実を結ぶことで名寄市に新たな産業が根つき、雇用の創出や高校生の地元就職などから名寄市の未来の活力に結びついていくことの可能性もあり、今後とも王子マテリア(株)と丁寧な協議を継続していきます。

今後

名寄市は、王子マテリア(株)が所有する施設や工場敷地を、この地域にもたらす影響がより良いものになるよう同社とともに協議・検討させていただき、いろいろな可能性の具現化へ向けて努力してまいります。



平成8年(1996)年

◆この頃には、名寄市の工業出荷額の約70%を占める重要な基幹産業となっている。



昭和55年(1980)年

◆工場の規模としてはおおよそ現在と同じ。当時、国道40号の名寄地区市街地入口に大きな陸橋があった。



昭和41年(1966)年

◆写真右側中段から左上上段にかけてJR深名線が走っている。南小学校やスポーツセンター、名寄中学校も建設前。